

編輯室より

- 嚴寒が来ました、工事關係の各位はナマヤサシイ事ではないと思ひます。然も大自然に向つて人類の文化を建設する諸君の御自愛を祈ります、
- 本號に白木屋の建築と奈良電の澱川橋梁工事とを載せましたが、何れも我國に於ける最近の特種な大工事であります。
- 朝鮮鐵道の混擬土アーチ橋と云ひ總て此等の工事は何等かの獨創が溢れてゐるものですから世の物議を生ずる丈けに又非常に技術進歩の過程を作るものです。
- 建築にも土木にも新らしい工事努力の効獻が次第に現はれて来る事は最も注意すべき事です。

新年の雑誌記事

- 都市工學 架構解法の新考案と新に開拓せらるべき應力領域の進展(鷹部屋福平)、橋梁工學雜論(高橋逸夫)、丹那隧道の現況(長江了一)其他
- 土木と建築、東京土木建築業組合の機關雜誌である、役員鹿島精一、石井權藏、戸田利平其他諸氏の所感が巻頭に掲げられた。内容は多端で論説、資料工事概要、散録、文藝などがある。
- 道路の改良 水野會長其他の論説、研究、時論、資料、海外道路時事等賑ふ
- 帝國鐵道協會々報、米國の繁榮に就て(猪俣昌藏)彙報、要錄其他(三年十二月號)
- 工業雜誌、クーリツヂ複式圓蓋堰堤構築上の特色其他に外國工事を紹介せり
- 工學 獨逸に於ける應剪鐵筋問題に就て(鎌田生)其他論評、學術界、資料、散録等
- 土木建築雜誌 橋梁美論(成瀬勝武)、電弧鎔接による鋼構造物(青木楠男)其他
- 滿洲建築協會雜誌、五官工事に就て(福岡庄一郎)建築と庭園(岡大路)其他(三年十二月號)
- セメント界彙報、研究、附錄等混擬土記事
- 水利と土木 ローリングダムの堰體設計法(物部長穂)、魚道の話(石井顯一郎)、說苑、資料等
- オーム、編輯室より、漢英文時報、1928年の本邦通信界(稻田三之助)其他
- 建築畫報 新年に當つて今後の建築界へ、其他
- 建築と社會 御大禮記念號として御大禮記事寫眞等を特輯したもの(大阪、日本建築協會)
- 電氣之友、○工政、○土木建築材料商報、○大日本建築業會雜誌、○名古屋工業會々報、○朝鮮土木建築協會々報、○大阪能率研究會誌、○工業と社會、

○港灣、○鐵道時報(每號)、○日本電氣新聞(每號)
○鐵道軌道經營資料等

紹介

ENGINEER (土木構築エンジニア)

と題して菊判 66 頁の小ジンマリとした雑誌が工學士長江了一氏の主宰で創刊された。内容は數學的な記事を少くして最近の技術を通俗に報道研究してある。第一號の内容目次は

日本古代の都市計畫(武居高四郎)
地下鐵道の概念(安部邦衛)
新らしく架かるハドソンの大吊橋
アスフルト製造と性質(市川良正)
鐵筋混擬土桁の複鐵筋の働き方(徳善義光)其他
數種の記事があるが、
卷末エンサイクロピードイアの一欄は本誌の特長と見らるべきもの、材料市場と物價も親切な記述である。一部定價二十五錢であるから充分に普及せらるべきものと思ふ、健全なる發達を望むものである發行所は牛込區四谷臺町二二都市工學社。

土木建築工事畫報 第五卷 第二號

定價七十錢(稅二錢)

毎月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行

購讀料

壹部	七十錢	稅二錢
參ヶ月	貳圓	稅共
六ヶ月	四圓	同
一ヶ年	八圓	同

(外國ハ一部稅共七十八錢)

注 文は總て前金、送金は必ず振替賄金にて振替東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便による

昭和四年一月廿六日印刷納本

昭和四年二月一日發行

編輯兼行人 岡崎保吉
東京府北豊島郡長崎町三六二九

印刷人 鶯見知枝麿
東京市芝區新錢座町九番地

印刷所 鶯見文友堂
東京市芝區新錢座町九番地

發行所 工事畫報社
東京市麹町區有樂町一丁目一番地
(丸ノ内仲通り四號館七號)
電話丸ノ内二六三三番
振替東京七〇貳六五番

大賣捌所 東京堂・東海堂・大東館・北隆館